



2022年7月15日

株式会社 阿波銀行

株式会社ダイアテックの「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまの SDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社ダイアテック（代表取締役 池田 広明、本社：埼玉県草加市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社ダイアテック
所在地	埼玉県草加市青柳三丁目 13 番 31 号
代表者	池田 広明
業種	その他電気機器業
設立	1977 年 11 月 9 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月15日



株式会社ダイアテック 代表取締役 池田 広明

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
環境・経済	グリーン購入	環境負荷の小さい原材料の購入や3Rの推進に努めます。	① リサイクル材使用の推進 (紙、プラスチック、金属等：包装材など)	8 働きがいも経済成長も 13 気候変動に具体的な対策を
			② グリーン購入品目数年20件	12 つくる責任 つかう責任
環境・社会・経済	災害・事故・事業リスクの未然防止	災害や事故等の有事においても、事業を復旧・継続するため、対応し得る万全の準備を行います。	① 食糧・飲料水の備蓄	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			② 社員全員分を備蓄完了し、定期的に更新	11 住み続けられるまちづくりを
社会・経済	顧客ニーズや課題の把握・改善	製品・サービスに関する顧客の意見やニーズを積極的に収集し、改善検討を行う経営を目指します。	① 顧客満足度調査の実施	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			② 2年に一回調査を実施し、社員と共有	17 パートナリシップで目標を達成しよう
社会	情報漏えいの防止	各種機密情報の保護の重要性を従業員全員が認識し、情報漏えい防止に努めます。	① パソコンや記憶メディアの取扱いルール制定	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
			② 2024年度までに制定し、社員全員へ通知	16 平和と公正をすべての人に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。